

押上・業平橋地区 まちづくりグランドデザイン

Grand Design

1. グランドデザインの策定目的

新タワー建設地である押上・業平橋駅周辺地区及びその周辺（すみだ中央エリア）における新たな将来都市像の提示

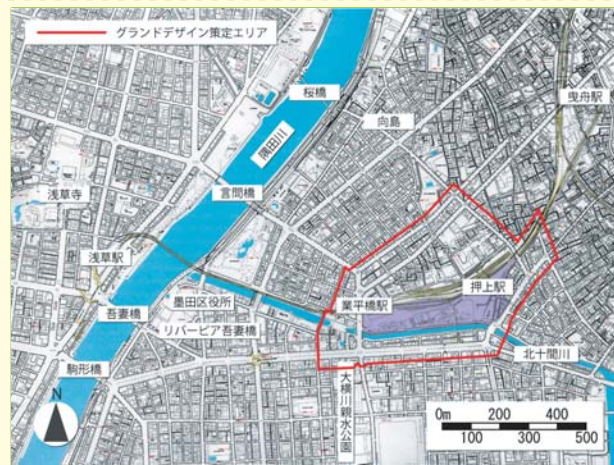
→ 点から面への効果の波及

新タワー建設を起爆剤として、すみだ中央エリアが他の観光拠点と有機的に連携することにより、墨田区全体が新たな観光都市へと生まれ変わります。

→ わかりやすい将来ビジョン

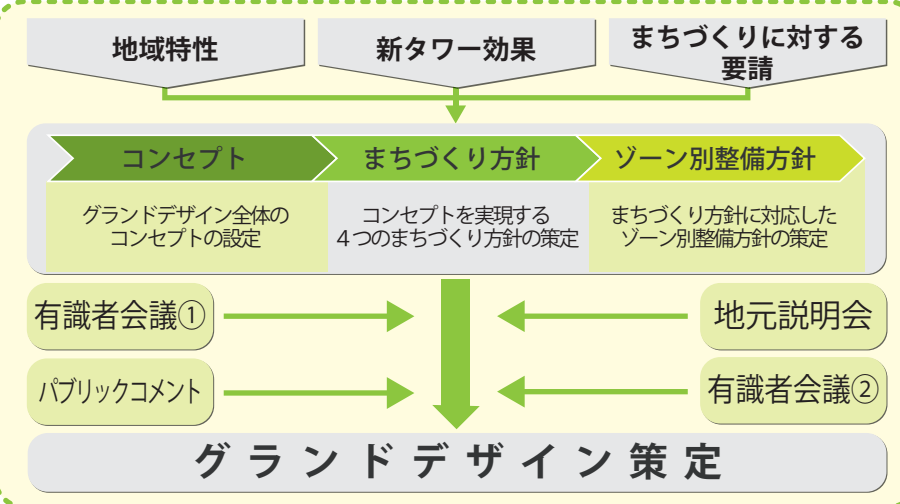
区民・事業者・行政等が将来イメージを共有し、協働まちづくりを推進します。

2. 策定エリア



押上・業平橋駅周辺土地区画整理事業の施行区域を中心として、タワーの建設によりまちづくりが必要と思われる約35haのエリアとします。

3. 検討の流れ



4. グランドデザインのコンセプト

新しい歴史を創造する
下町文化創成拠点



長く培われてきた下町文化と、新タワーによりもたらされる先進機能とを融合させ、安全安心で環境にやさしい観光拠点として国際都市東京の一翼を担っていきます。

5. すみだ中央エリアの新たな位置づけ

すみだ中央エリアを、両国、錦糸町の各駅周辺地区と同等の広域総合拠点として位置づけられます



6. まちづくり方針（将来都市像の4つのテーマ）

都市文化を楽しむまち

先進性

先進性のシンボルとなるタワーを中心として、人々を楽しませるこれまでにないエンターテインメント空間として整備します



歴史文化

すみだ古来の下町情緒を感じさせる街並みを表現しながら、地域の歴史的観光資源へと導く玄関口として整備します

安全安心で災害に強いまち

避難地

緑あふれるオープンスペースを災害時の避難空間として確保し、広域的な情報発信拠点として整備します



防災シンボル

防災活動の推進に資するシンボル性を有した防災空間として整備します



地球にやさしい水と緑のまち

環境共生

人と自然環境との調和を図るため、公園と河川が一体となった景観を形成し、魅力的な水辺空間を整備します



持続可能

最新の省エネ技術、屋上緑化、雨水利用、リサイクルシステムなどの導入により、環境への負荷の低い都市として整備します



人にやさしい移動しやすいまち

ユニバーサルデザイン

外国人や高齢者などさまざまな来街者に対応するため、安全でわかりやすい移動空間の整備を図ります



交通ターミナル

多様な交通手段の提供により、地域回遊性の高い便利な交通結節点として整備します



ゾーン別整備方針と整備スケジュール

Grand Design

新タワーゾーン

基本の方針

新タワーをシンボルとする防災・観光の広域拠点として、商業・業務機能を核に下町文化を発信する多機能複合市街地の形成を図る

将来像

- 新タワーを中心とした観光都市すみの「顔」
- 観光客の回遊を促す情報発信拠点
- 多様な交通手段が利用できる交通ターミナル
- 安全安心な防災の拠点



水と緑ゾーン

基本の方針

水辺拠点として、北十間川の河川空間を活かした魅力ある親水環境の創造を図る

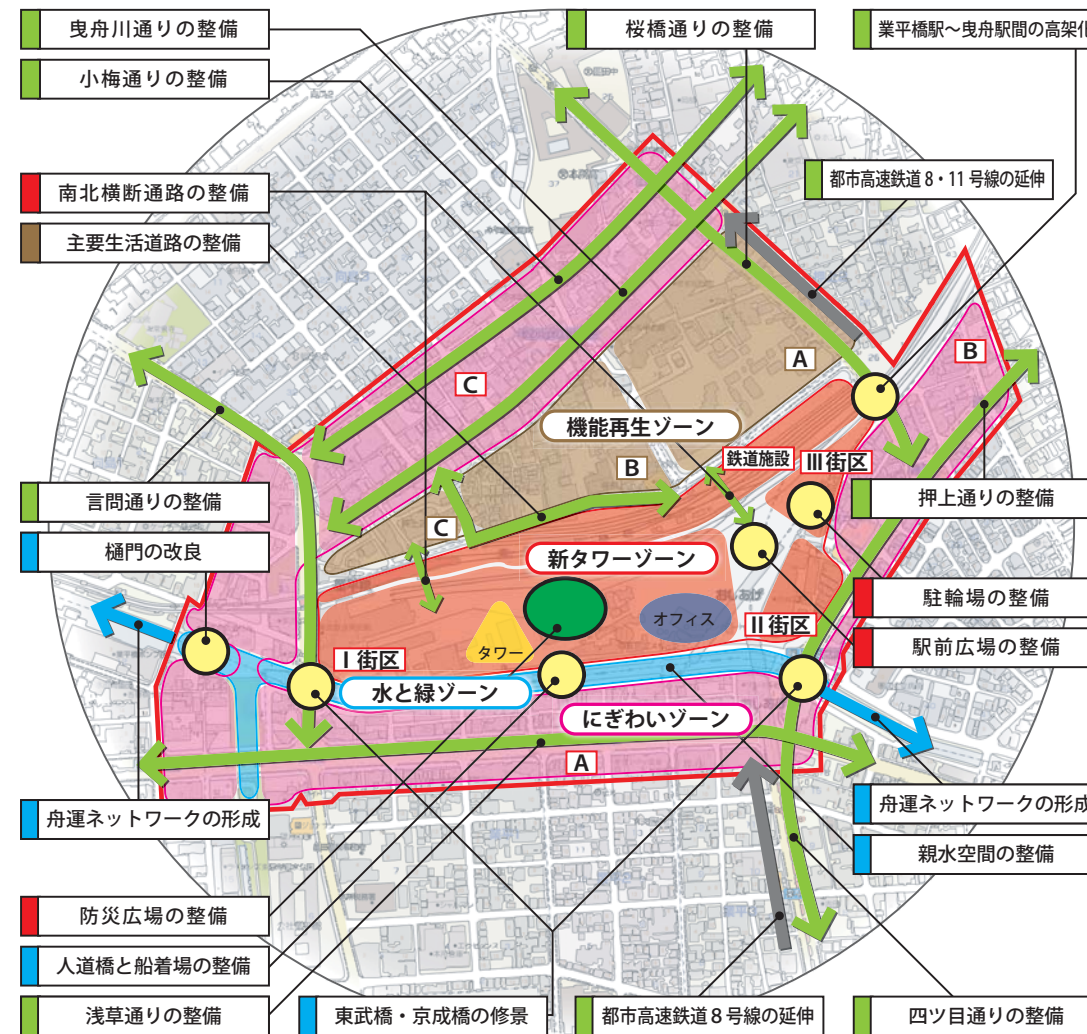
将来像

- シンボリックな親水空間
- 快適な歩行者空間
- 水と緑の潤いある景観
- 新たな水辺交通のネットワーク空間



※パースは目指す街の将来像をイメージ化したものであり、実際の整備内容と異なる場合があります。

ゾーン別整備方針



整備スケジュール

	短期（タワー完成・まちびらきまで）						長期（2025年度まで） H24～37年度（2025年度）	整備主体 （協力主体）
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度		
新タワーゾーン	新タワー建設							事業者
	多機能な商業・業務等複合施設の整備							事業者
	押上駅前、業平橋駅前の整備							区
	駐輪場、レンタサイクル施設の整備							区・事業者
水と緑ゾーン	立体防災広場の整備							区・事業者
	（南北横断通路の整備）							都・区・事業者
	北十間川の整備（低水路、歩行者デッキ、人道橋など）							都・区・事業者
	水質浄化施設の高度化							都・区・事業者
にぎわいゾーン	船着場の整備							都・区・事業者
	水上交通ネットワークの整備							区民・事業者（区）
	まちづくりに関するルール検討							区
	共同化等による商業・業務・住宅などの整備							区民・事業者（区）
機能再生ゾーン	建物の不燃化促進							区
	主要生活道路の整備							都・区
	商店街の活性化に資する街並みの再整備							都・区
	幹線道路の整備（安全な歩道確保、ユニバーサルデザイン化）							都・区
広域的な都市施設に係る整備スケジュール	幹線道路の整備（拡幅、交差点改良など）							事業者（区）
	バス路線の充実							事業者（区）
	業平橋駅～曳舟駅間高架化の検討							事業者（区）
	地下鉄延伸の検討							事業者（区）
総合交通戦略の検討	新たな交通機関の検討							事業者（区）

※このスケジュールと整備主体は区としての考え方を示したものであり、今後関係機関との調整が必要となっています。したがって、確定したものではありません。

にぎわいゾーン

基本の方針

既存商店街の活性化により、連続性と賑わいのある沿道商業複合市街地形成を図る。あわせて不燃化を促進し、延焼遮断機能や避難路の機能の向上を図る。

将来像

- 賑わいのある商店街
- 回遊を誘発する安全で快適な歩行者空間
- 地域の特色である下町情緒を活かした良好な街並み



機能再生ゾーン

基本の方針

災害に強いまちづくりを推進するとともに、下町情緒を活かしながら日常生活空間を再生し、良好な環境を確保した複合市街地の形成を図る

将来像

- 日常生活空間でありながら観光客をもてなすまち
- 生活者にとって便利な施設が高度に集積した生活支援拠点
- 安全安心で災害に強いまち

